

# 野菜と果物ガイド



2017 / 5



丸果札幌青果株式会社

品目	前年の動き								5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通し	
ながねぎ	上	63	751		北海道	45	A	保合	道内産渡島・上川・胆振地区中心の入荷。 作付は渡島方面は減反、他地区は平年並。 入荷量は減少すると思われる。 府県産は茨城、埼玉産中心で一部千葉産の入荷。 茨城産の作付は前年並。 適度な降雨により作況は順調で、前年並の入荷を見込む。 埼玉産の作付は前年並。 残量販売で、前年並の入荷量を見込む。
	中	96	485		茨城	20	A	保合	
	下	85	483		埼玉	17	C	保合	
	月計	244	553		千葉	16	B	保合	
					その他	2			
ほうれんそう	上	38	629		北海道	99	B	保合	道内産渡島・日高・上川・胆振地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 生育順調で、昨年並の入荷見込み。
	中	52	583						
	下	60	513						
	月計	150	567						
					その他	1			
にら	上	17	642		北海道	99	B	保合	道内産渡島地区主力の入荷。 作付は変わらず。 天候も良好で生育順調。 入荷量は前年並を見込む。
	中	19	563						
	下	16	419						
	月計	52	545						
					その他	1			
(表の見方)					1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)				
					2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				

品目	前年の動き								5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
セ ル リ ー	上	7	349		北海道	70	A	強保合	道内産胆振地区主力の入荷。 作付は前年並。 4月期の強風被害による影響あり。 入荷はゴールデンウィーク明けの予定。 静岡産の作付は前年並。 前年に比べ出荷が2～3日遅れ気味だが回復傾向。 入荷は5月中旬まで続く見通し。
	中	11	405		静岡	12	C	保合	
	下	15	361						
	月計	33	373						
					その他	18			
ブ ロ ッ コ リ ー	上	11	599		北海道	65	A	保合	道内産胆振地区主力の入荷。 作付は前年に比べやや減反。 作況は、前年に比べ5日ほどの生育遅れが見られる。 5月中旬頃より出荷開始予定。 徳島産の作付は前年並。 作況も前年並で、5月中旬頃に最終の入荷予定。
	中	18	641		徳島	10	C	保合	
	下	28	666						
	月計	57	645						
					その他	25			
レ タ ス	上	162	199		北海道	94	A	強保合	道内産日高・渡島・上川・胆振・石狩地区主力の入荷。 作付は、渡島地区と胆振地区がやや減反、他地区は前年並。 日高地区は4月期の日照もあり前進出荷となっており、5/10頃より減少の見通し。 渡島地区も4月期の日照もあり前進出荷で、5月中旬頃より減少の見込み。 上川地区はほぼ日数通りの出荷で、順調な出荷見込み。 胆振地区の露地作物は強風の被害あり。 5月下旬頃の出荷予定が6月上旬にずれる見込み。 石狩地区でも強風の被害あり。5月下旬頃出荷開始予定。
	中	132	199						
	下	220	169						
	月計	514	186						
					その他	6			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
だ い こ ん	上	102	135		北海道	51	A	保合	道内産は渡島地区主力の入荷。 作付は前年並。 作況は、ハウス物は概ね順調。露地物は4月の低温の影響で遅れ気味。 入荷量は前年よりやや減少する見通し。 府県産は茨城、千葉産中心の入荷。 茨城産の作付は例年並み。 低温の影響を受けるも概ね順調で、入荷量は前年並を見込む。 千葉産の作付は前年並。 作況は概ね順調で、終盤期に入る。入荷量は前年並を見込む。
	中	159	121		茨城	34	B	保合	
	下	206	104		千葉	11	C	保合	
	月計	467	117						
					その他	4			
か ぶ	上	52	189		北海道	95	B	弱保合	道内産渡島地区中心の入荷。 作付は前年よりやや増反。 作況は、4月の低温により生育が遅れ気味。 強風の影響で葉の障害が懸念される。 入荷量は、小玉傾向も前年並を見込む。
	中	102	140						
	下	103	104						
	月計	257	135						
					その他	5			
は く さ い	上	89	115		茨城	56	C	保合	府県産は茨城産主力の入荷。 作付は前年よりやや増反。 作況は概ね順調も、高値推移で収穫作業が進んでおり、 残量は多くはなさそう。 入荷量は前年並を見込む。 道内産は渡島地区主力の入荷。 前年に比べ上旬は少なめ、後半は前年に比べやや増の見通し。 入荷量は前年並を見込む。
	中	102	104		北海道	42	A	保合	
	下	94	99						
	月計	285	106						
					その他	2			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
キヤベツ	上	232	135		茨城	81	B	弱保合	<p>府県産は茨城産の入荷。 作付は前年並。</p> <p>作況は、生育期の低温のため大玉は少ない。 入荷量は前年並を見込む。</p> <p>道内産は渡島、胆振地区主力の入荷。 作付は前年に比べやや減反。 作況は、4月の強風の影響が懸念される。 入荷量は前年並を見込む。</p>
	中	265	118		北海道	15	A	保合	
	下	281	126						
	月計	778	126						
					その他	4			
ばれいしょ	上	81	184		北海道	74	C	保合	<p>道内産石狩地区主力の入荷。 作付は前年並。</p> <p>雪の下の貯蔵品で、やや小玉傾向。 入荷量は前年並かやや減少の見通し。</p> <p>長崎産の作付は前年並。 概ね順調な生育となっている。 入荷量は前年並を見込む。</p>
	中	112	186		長崎	23	A	保合	
	下	111	196						
	月計	304	189						
					その他	3			
たまねぎ	上	95	85		佐賀	58	B	保合	<p>府県産は佐賀・大阪産中心の入荷。 佐賀産の作付は前年に比べ減反。</p> <p>作況は、肥大期の降雨で品質が懸念される。 入荷量は前年並を見込む。</p> <p>大阪産の作付は前年並。 作況は概ね順調で、前年並の入荷を見込む。</p> <p>道内産は石狩地区主力の入荷。 作付は前年並。</p> <p>貯蔵品の出荷となるが、出荷は昨年より前倒し傾向。 入荷量は前年より減少する見通し。</p>
	中	186	80		北海道	20	C	保合	
	下	166	113		大阪	17	A	保合	
	月計	447	93						
					その他	5			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き							5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価	産地	構成比	出荷現況	価格見通	
に ん じ ん	上	72	212	埼玉	42	A	保合	<p>府県産は埼玉・熊本産の入荷。 埼玉産の作付は前年より減反。 作況は、2～3月の寒さで遅れ気味。 入荷量は前年より入荷減の見通し。 熊本産の作付は前年並。 作況は概ね順調で、入荷量は前年並を見込む。 道内産は後志地区主力の入荷。作付は前年並。 昨秋の天候で傷みが多く、正品率が悪い。 その為圃場でのロスが多く、切り上がりは早い見通し。 入荷量は前年より減少する見通し。</p>
	中	87	233	熊本	18	A	保合	
	下	136	146	北海道	16	C	保合	
	月計	295	188					
				その他	24			
こ ぼ う	上	14	240	北海道	100	C	保合	<p>十勝・後志地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年並。 各地区とも生育期の天候不順により細めで、M中心の入荷予定。 入荷量は減少の見込み。</p>
	中	32	215					
	下	28	222					
	月計	74	222					
				その他				
か ぼ ち ゃ	上	31	128	ニュー ジーランド	76	C	弱	<p>ニュージーランド、メキシコ産中心の入荷。 ニュージーランド産の作付は前年並。 生育時の干ばつの影響を受け小玉の為、収量は減少する見通し。 また、雨の影響により品質の低下が見られ、 後半の輸入量は近年の中では一番少ない見込み。 ただ、産地の切り替わり時期の為、大きな影響はないと予想する。 メキシコ産の作付は昨年とほぼ変わらず。 作況は平年並。 輸入量も前年と変わらないと思われる。</p>
	中	50	139	メキシコ	21	A	強保合	
	下	41	137					
	月計	122	136					
				その他	3			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)				
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				

品目	前年の動き							5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価	産地	構成比	出荷現況	価格見通し	
きゆうり	上	113	300	宮崎	81	B	保合	<p>宮崎産主力の入荷。 作付は前年並。 4月の天候の変化が激しかった事から生育が鈍く、回復まで時間がかかると思われる。 入荷量は前年を下回る見込み。</p>
	中	126	290					
	下	159	314					
	月計	398	302					
				その他	19			
なす	上	57	460	高知	76	B	保合	<p>高知・宮崎産中心の入荷。 作付は各産地とも前年並。 4月上旬の悪天候の影響で一部花落ちが見られる。 天候の回復とともに生育も回復するが、傷みが発生する恐れあり。 各産地とも入荷量は前年並を見込む。</p>
	中	49	473	宮崎	16	B	保合	
	下	68	436					
	月計	174	454					
				その他	8			
トマト	上	142	395	熊本	50	C	保合	<p>府県産は熊本産主力の入荷。 作付は、昨年は熊本地震の影響があったが今年は10%増。 作況は、天候不順もありながら玉伸びしつつある。樹勢は平年並。 入荷量は前年を上回る見込み。 道内産は日高地区(平取)の入荷。 作付は前年並。 寒暖差が有りながらも生育は順調。 入荷量は前年並を見込む。</p>
	中	191	390	北海道	34	A	保合	
	下	218	404					
	月計	551	397					
				その他	16			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)				
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				

品目	前年の動き								5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
ピーマン	上	30	562		宮崎	53	B	保合	宮崎、高知、茨城産中心の入荷。 作付は各産地とも前年並。 作況は、4月上旬の悪天候の影響で一部花落ちが見られる。 天候の回復や気温の上昇とともに生育も回復するが、赤玉や腐れが懸念される。 各産地とも入荷量は前年並を見込む。
	中	50	445		高知	34	B	保合	
	下	62	323		茨城	13	B	保合	
	月計	142	416						
					その他				
アスパラ	上	40	1,759		北海道	99	B	保合	道内産石狩・空知・後志・渡島・桧山・上川・日高・十勝・留萌地区中心の入荷。 作付は各地区とも前年よりやや減反。 作況は、今後の天候にもよるがやや前進傾向。 入荷量は前年並を見込む。
	中	69	1,307						
	下	74	989						
	月計	183	1,277						
					その他	1			
生しいたけ	上	17	686		北海道	100	B	保合	石狩・胆振・根室地区中心に道内一円からの入荷。 作付は各地区とも前年よりやや増反。 作況は順調で、前年並の入荷見込み。
	中	18	680						
	下	18	661						
	月計	53	675						
					その他				
(表の見方)					1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)				
					2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				



品目	前年の動き								5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
なめこ	上	4	420		北海道	97	B	保合	道内産上川・渡島地区中心の入荷。 作付は前年並。 作況は順調で、前年並の入荷を見込む。
	中	4	395						
	下	4	450						
	月計	12	422						
					その他	3			
えのき	上	10	307		北海道	88	B	保合	道内産上川地区中心の入荷。 作付はやや増反。 作況は順調で、前年並の入荷を見込む。 長野産は状況に応じての入荷。
	中	11	312		長野	11	B	保合	
	下	9	315						
	月計	30	311						
					その他	1			
しめじ	上	5	526		長野	56	B	保合	道内産胆振地区主力の入荷。 作付は前年並。 作況は順調で、入荷量は前年よりやや増の見込み。 長野産は状況に応じての入荷。
	中	11	406		北海道	43	B	弱保合	
	下	19	328						
	月計	35	381						
					その他	1			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き							5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価	産地	構成比	出荷現況	価格見通	
りんご	上	119	357	青森	100	C	保合	<p>青森産主力の入荷。 サンふじの入荷は5月中旬頃までの見通し。 40～50玉中心の販売予定。 5月中旬頃より有袋ふじの入荷予定。 産地在庫は前年より約2割弱少なくなる見通し。 40玉中心の販売予定。</p>
	中	163	385					
	下	129	376					
	月計	411	374					
				その他				
いちご	上	40	1,261	宮城	61	B	保合	<p>府県産は宮城、佐賀産中心の入荷。 宮城産の栽培面積は変わらず。 昨年と同時期より出荷量は多いが、極端に増加する事も無くガラガラした出荷。 佐賀産は前年並の入荷見込み。 5/20頃で終了予定。 道内産は後志・函館地区中心の入荷。 栽培面積は減反。出荷時期は昨年より4～5日ほど遅く、 ピークは5月中旬頃と思われる。</p>
	中	47	1,250	北海道	22	A	強保合	
	下	54	1,136	佐賀	11	C	弱保合	
	月計	141	1,209					
				その他	6			
メロン	上	28	650	茨城	62	B	保合	<p>道内産空知(夕張)、胆振(苫小牧)、上川(上川中央)地区中心の入荷。 栽培面積及び出荷時期においては昨年並の見込み。 昨年並の出荷が予想される。</p>
	中	54	616	北海道	21	A	保合	
	下	94	718					
	月計	176	676					
				その他	17			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)				
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				

品目	前年の動き								5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
す い か	上	29	408		熊本	62	B	保合	熊本・千葉産中心の入荷。 熊本産の栽培面積は昨年と比べやや減反。 出荷がやや前進傾向にあり、5月初頭の入荷が不安定な見通し。 その後は順調な入荷見込み。 千葉産の栽培面積は、大玉を中心に年々減少傾向となる。 5月ゴールデンウィーク明けより大玉の入荷となる見込み。 L中心の販売となる見通し。
	中	79	348		千葉	38	A	保合	
	下	107	293						
	月計	215	329						
					その他				
び わ	上	0.4	2,031		長崎	70	B	強保合	長崎産主力の入荷。 昨年より出荷増の見通し。 ただ、平年よりは少なく玉が小さい。 玉サイズはL = Mの見込み。
	中	0.2	2,174		長野	24	-	-	
	下	0.4	1,658						
	月計	1	1,910						
					その他	6			
レ モ ン	上	14	390		アメリカ	79	C	強保合	輸入ものはアメリカ産の入荷。 全体量は変わらずも大玉傾向。 140玉以下は少なめの見込み。 府県産は広島産の入荷。 昨年より1カ月強早い4月中の出荷にて今季終了。 5月上旬まで残量を販売する予定。
	中	9	395		広島	19	-	-	
	下	16	365						
	月計	39	381						
					その他	2			
(表の見方)					1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)				
					2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				

品目	前年の動き								5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
キ ー ウ イ	上	24	604		ニュージーランド	100	A	保合	<p>ニュージーランド産主力の入荷。 サンゴールドは昨年よりも入荷量は増、出始めは22玉・25玉中心で大玉傾向となっている。 グリーンはゴールデンウィーク明け頃より入荷予定。 昨年よりやや減少する見通し。</p>
	中	53	568						
	下	31	609						
	月計	108	588						
					その他				
バ ナ ナ	上	237	218		フィリピン	92	B	弱保合	<p>フィリピン産主力の入荷。 レギュラー系のバナナが増加により、単価は安くなる見込み。 入荷量は増えていく見通し。</p>
	中	227	223						
	下	280	224						
	月計	744	222						
					その他	8			
パ イ ン	上	29	244		フィリピン	99	B	保合	<p>フィリピン産主力の入荷。 入荷量は変わらず。 大玉は若干の単価安になるが、小玉が少ないので全体的には保合の見込み。</p>
	中	30	245						
	下	42	254						
	月計	101	248						
					その他	1			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								5月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
グ レ ー プ	上	27	228		アメリカ	87	C	強保合	アメリカ、メキシコ産中心の入荷。 アメリカ産は入荷終了で、4月分の残量販売となる。 メキシコ産は赤のみの入荷。 各産地とも前年より少なめ。
	中	43	197		メキシコ	13	C	強保合	
	下	31	197						
	月計	101	205						
					その他				
オ レ ン ジ	上	19	269		アメリカ	100	C	保合	アメリカ産主力のネーブルの入荷。 前年に比べ少なめの入荷となっており、大玉傾向。
	中	20	274						
	下	31	259						
	月計	70	266						
					その他				
	上								
	中								
	下								
	月計		0 #DIV/0!						
					その他	100			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:t 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは前年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					